

2022 年 12 月 27 日

在園児保護者様

鶴見幼児教育研究所付属
梶山モンテッソーリスクール

おたより 1 月号

＜はじめに＞

クリスマス会を無事開催し、滞りなく終わらせることができましたこと、祈るような気持ちでおりましたのでほっといたしました。と同時に、延期になりましても最大限万書練り合わせて、ご参加くださいました保護者の皆様に、深く感謝いたします。残念ながら、スケジュールを変更できなかった方々がいらしたことは、心から申し訳なく思っています。ただし、水曜日リハーサルの日にご覧いただき満足されてお帰りになったことが、せめてもの救いとなりました。温かいまなざしで子どもたちの発表をご覧下さりありがとうございます。子どもたちは、表現することが大好きです。緊張もするでしょうが、実に伸び伸びと活き活きと楽しそうにみえました。各学年の成長の段階が、合わせてよく見えたことと思います。コロナにより休園を余儀なくされ十分に最後の追い込み練習が出来なかった部分もありましたが、いつも前向きな子どもたちは大満足だったと思います。お母様方も何度も練習し、美しいコーラスをとどけてくださりありがとうございます。今回のことで、職員も学ぶことがたくさんありました。ただ、子どもの力を信じましようと言ひ聞かせ、臨んだ会はいろんな意味で心に残るものとなりました。

＜1 月の予定＞

(P) プライマリークラス (IC) インファントコミュニティクラス

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
		始業日 午前保育(P)	体育 お弁当開始(P)			ボランティア 活動
15	16	17	18	19	20	21
	お誕生会(P)	身体測定	体育(P)		ベアレンツコース	ボランティア 活動(予備日)
22	23	24	25	26	27	28
	保育参観	保育参観	体育(P) 保育参観	保育参観	保育参観	
29	30	31				
	保育参観 青組個人面談	保育参観 青組個人面談				

＜通園＞

日頃より、スクールの通園には保護者皆様にご協力いただき大変感謝しております。

3 学期の降園時間は下記表のとおりです。

ご確認の上、お時間の間違いがないようお迎えにいらしてください。

プライマリーの予定	IC	桃・赤	黄	青
午前保育の場合	11:30	11:50～12:00	12:05	12:10～12:15
お弁当有りの場合	11:45	13:35～13:45	13:50	13:55～14:00

園車庫前お迎え時間

午前保育	通常保育(お弁当有)	メンバー
11:20	13:20	
11:50	13:35	伊東・須藤・木村・森・小林・住居
11:55	13:40	田中・内山・野村・浅沼・西村
12:00	13:45	ザキロフ・久保・岩見・山本・高橋
12:05	13:50	高瀬・山田
12:10	13:55	吉田・黒子・神・熊谷・松尾
12:15	14:00	小野寺・井上・秋元・小林

文山駐車場の中でお子様が遊ぶ姿が見られました。危ないですので、おやめください。
また、花壇のお花を取るなどもお子様がなさらないよう、ご注意ください。

<ペアレンツコース (全クラス) >

1月20日(金) 10:00-11:00

欠席される方は、連絡ノートにてご連絡ください。レコーディングした資料が必要な場合はその旨を一言お書きください。なお、基本的には出席された方へ、レコーディング資料は貸し出しいたしません。

書籍「パパママあのね・・・子育てのヒントは子どもが教えてくれる」を使用いたします。第5章「子どもの秘密はそのままに」を読み進めて参りましょう。お手元に無い場合、スクールでも購入できます。1冊 1,430円です。雑費袋(黄色)の摘要を「書籍代『パパママあのね・・・』」とし、お釣りのないようにお申し込みください。

Zoom : <https://us06web.zoom.us/j/82065118868?pwd=NFR0TDNwVTdmTkxMbmd6QWJRd01tdz09>
ミーティング ID: 820 6511 8868
パスコード: kms0120

<保育参観>

詳細は後日配信の「保育参観お知らせ」をご覧ください。

<園生活の写真展示販売>

2022年12月30日(金)～2023年1月29日(日)の期間に園での活動を職員が撮影した写真を展示販売いたします。閲覧だけでも楽しめますし、お気に召した写真は購入することもできます。別配信の「写真代行販売サービスのお知らせ」「写真展示のお知らせ」をご参照のうえご利用ください。

<新しいお友達 (プライマリークラス 桃組) >

伊東 歆紀(いとう かんき)くん	ご両親		通園方法
2019年4月2日生まれ	まさふみ 真史様	はるか 晴香様	車

1月10日より、火曜日と木曜日に登園されます。

<職員の離任>

I Cクラスを週1回水曜日にお手伝いしてくださっていた原田由加理先生が、第2子ご出産のため、この11月をもって退職されました。しばらく子育てに専念されるそうですが、再び梶山モンテッソーリスクールでお会いできることを願います。これまで学ばれたことや経験を大いにいかし

てゆかれるでしょう。お元気でいらしてください。

<職員紹介>

田中真理奈先生は、この12月から、プライマリークラスで、週3日教えてくださっています。アメリカの大学院を卒業され、ネバダ州の公立学校に勤務されていらっしゃいました。退職後、この11月にAMIの3歳～6歳のディプロマを受与されました。どうぞよろしくお願い致します。

<お願い>

- ① 新型コロナウイルスの感染再拡大に加え、季節性インフルエンザの流行など、心配はつきません。発熱の症状がみられた場合は、抗原検査をご家庭で実施いただくようお願いいたします。また、その結果を電話にてお知らせください。
- ② 2023年1月14日（土）（雨天時1月21日（土））AM9:00より園庭の砂を入れます。すでにお申し出いただいている皆様ありがとうございます。園車庫前からバケツリレーで砂を運ぶ作業になりますので、大勢の方のお手伝いが必要です。参加してくださる方は、連絡ノートに14日と21日の参加者氏名をお知らせください（在園児も含む）。桃組、ICクラスの在園児児童はお控えいただき、保護者のみのご参加をお願い致します。卒業生ご兄弟の参加は可能です。

プライマリークラス

<3学期の聖句>

マタイによる福音書5章3節～9節

心の貧しい人々は幸いである、天の国はその人たちのものである。

悲しむ人々は幸いである、その人たちは慰められる。

柔和な人々は幸いである、その人たちは地を受け継ぐ。

義に飢え渴く人々は幸いである、その人たちは満たされる。

憐み深い人々は幸いである、その人たちは憐みを受ける。

心の清い人々は幸いである、その人たちは神を見る。

平和を実現する人々は幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。

<体育（プライマリークラス）>

今月は、園庭での体育となります。

- ・登園時には体操着着用（ハンドタオルを付ける）
- ・降園時間は、通常保育の時間です。

<お誕生会（プライマリークラス）>

1月16日（月） 11時15分頃～

お誕生会をご覧になる方、駐車場は文山駐車場・駒岡マンション駐車場をご利用ください。それ以外の方は、この時間には駐車場を空けていただくよう、ご協力をお願いいたします。

<青組個人面談>

詳細は、後日配信の「個人面談のお知らせ」をご覧ください。

インファントコミュニケーションクラス

<預かり保育について>

1月より預かり保育ご希望の方は、「預かり保育申込書」の提出をお願いいたします。
申込用紙は、スクールよりお渡しいたしますので、連絡ノートにてお申し出ください。

<12月ペアレンツコースの振り返り>

既に、時間が経ってしまいましたが、今年最後の zoom の録画ができていなかったもので、申し訳ありませんが概要をここにお伝えいたします。

・教室内近況

青組は、行事前になると浮足立ってしまいがち。何となく落ち着かない様子ですが、お仕事は各々人のペースで、2時間しっかり行っています。いろんな場面で、見通しをもって行動できている様子は、そろそろ小学校へ入学する準備が整いつつあるのかと思います。

黄組のお2人は、それぞれにマイペース。クリスマス会を赤組青組のどちらと一緒に参加するか考えた時、来年、園を引っ張って行く事を考えたら、赤組さんとやるほうがよいと判断しました。赤組さんとは違う意識はみえますが、社会性の発達はややかで、これからです。

赤組さんは数字切りに熱中。時間をかけて、一心不乱に黒い線を切り、9枚切り終わった時の満足感は格別。正しい序列にならべて貼れてはいませんでした。すっきりと良い表情を見せ、その後「先生もっとお仕事しようよ」といつてきた男の子のお話。ずっと観察していた実習生が、とてもよいものをみせていただきましたと感動していました。

桃組さんは2時間お仕事を続けるのはまだ難しい。ですが一人でやれる時間が増えました。アイロンを選んだ男の子の話。やりたい一心で選んだお仕事だけに、やってはいけないことのお約束をしっかり守り、興味点は霧吹きだったり砂時計だったりでしたが、1枚を丁寧にかけたら、満足し、お片づけも先生と一緒にしっかりできました。

I Cさん4人に対し3人の保育者に見守られて穏やかに生活。教具の目的から逸れた時に間違っ吸収しないために、しかし訂正をしないように、やめさせるには、その子にあった別の選択肢を与えるようにしています。直に、移行しプライマリーに加わる子どもたちを心待ちにしています。

・砂入れ

園庭の砂が少なくなってきましたので、バケツリレーで砂入れをしたいと思います。来年1月14日（土）人海戦術でいきたいと思いますので、多数のご協力をお願いしたいです。

・秋の避難訓練

去る11月18日（金）地震による火災を想定しての避難訓練において、一言。
子どもたちは、「地震です」の声で、机の下に素早く潜り、机の脚を両手で持ち、おさまるまでその姿勢を保ちます。揺れがおさまり、防災頭巾が配られます。給湯室が火事となったことで、園外に避難することが知らされ、防災頭巾をかぶって、2か所の階段を使い外に出ます。子どもたちは、

真剣に速やかにあわてずに避難できました。ところが、待機している北のお庭から、おおきなお話声が聞こえ所長さんの声が聞こえづらくなることがありました。訓練であることを自覚し参加していただきたいと思いました。また、子どもたちの中にすでに訓練の予定に気づいていて、入室時に「今日は避難訓練」ということが、残念でした。また、通常を装うため、あえてお弁当をもたせている保護者の方がいましたが、職員が確認をとるために電話をかけなければならないので、今後は持たせないでいただきたいと思います。

・本「パパママあのね」 p 50～p 57

一般的に3から6歳の子供は、「遊び」を通して諸特徴を形成するといわれています。モンテッソーリ教育では、子どもにとって自然で楽しい学び方は、物をさわったり、動かしたり、具体物から入ります。切手遊び、点遊び、へび遊びなど今日もたくさんやっています。机いっぱい切手をきちんと並べ、集中するあまり立ちあがり一生懸命にやっている青さんの話。数字と同じ量だけ点をつけていく繰り返しの練習となる点遊びをやっている赤さんのお話。今ブームであるみかんしぼり・ハサミで切るなど、自分の発達のために子どもたちは忙しく働いていました。

大人の「仕事」は生産的労働であり、一方子どもの「仕事」は、人間を形成するためのものです。ある最終目的に向かわせ、なるべき人間に自身を構築していきます。内面からの抑えられないエネルギーによって、疲れることなく活動を続けながら、成長していきます。これをしている最中は、楽しいということしかわかっていません。赤さんの数字を切り抜いて序列に並べて貼るお仕事。いろいろな三角形で四角形や三角形を作るお仕事で提供通りに画用紙で等脚台形をひとりで大変きれいに作れた青さん。いずれも集中し、作業が終わった時の喜びに満ちた表情から子どもの真の幸せを感じます。楽しいという点で子どもにとっての「仕事」は「遊び」と同じ、また子どもは「遊び」の中に意味のある目的をもたせていくので「仕事」になりえるのです。

・保育参観の感想

ペアレンツコースでは、ZOOMに参加された、一部のお母様の感想をいただきました。この場では、1・2 学期に保育参観にご参加いただいた保護者様の感想をご紹介します。園への提出がまだの方は、3 学期の方と一緒にご紹介させていただきます。1 月 20 日（金）までにメールでご提出ください。

小野寺 悠希

一学期の保育参観に参加させていただきました。例年に比べて赤組さんがとても落ち着いてお仕事をされていたのが印象的でした。悠希は私が来たことがとても嬉しそうで、はりきってお仕事をしていたのが微笑ましかったです。

その日は金曜日で聖書のお話しがありました。その後、一言感想を述べさせていただきましたが、子どもたちは私の目をみて真剣にお話しを聞いてくれました。梶山での生活で、“他者の話を聞く”というコミュニケーションの基礎であり人として大切な部分を学んでいるのだと感じました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

井上 理央奈

今回の保育参観は、「前回の保育参観からの娘の成長」と「音楽世界旅の様子」を拝見することを目的に参加いたしました。

「青組になると、一つのお仕事に長い時間をかけることができるようになる」と先生方から言われておりましたが、おっしゃる通りだと感じました。娘は参観中、クロスステッチを長時間行ってい

ました。「こんなに集中して物事に取り組めるようになったのだな～」と成長を感じることができました。

また、もう一つの目的の「音楽世界旅」では、実際に歌を聴きたいと考えておりました。これまで送迎の車内や家で娘から歌を聴いていたのですが、正確なものがわからず…。娘とようやく音楽世界旅について共有することができました。親子にとって大変貴重な時間となりました。誠にありがとうございました。

松尾 有咲

子ども達の成長を近くで見ることができ、満ち足りた気持ちで一日を過ごしました。

桃組さんは、体が一回り小さいながらも、一人前の顔つきでおしごとする姿が印象的でした。

青組さんは、おしごとの時間が終わると、お誕生会の準備を自分達でどんどん進めていました。一学期から一段成長して、青組さんらしくなっていて、感動しました。

娘の有咲は、クロスステッチと割り算のおしごとをしていました。あと3ヶ所でクロスステッチのリボンが完成というところでしたが、先生に3度聞きに行っても刺し方が分からなかったようで、次の日に持ち越すことにしたようです。持ち帰ってくる作品は、毎日の積み重ねがあることを実感しました。また、おしごとの時間中、お友達同士の小さなもめ事が起きた時、1人の子をなだめて収めていました。初めてみる姿で、嬉しく思いました。

日々、子ども達を尊重しながら接してくださっている先生方に、改めて感謝いたします。

小林 はる・小林 朔久

保育参観ありがとうございました。

先生方と子ども達が作る教室の空気を意識して参観しました。お仕事の時間では微細運動をする子どもたちの変化に気をくばりつつ徹底とした見守る先生方の姿勢を間近で感じ取れました。線上歩行の空気感はどうのお子さんも場の雰囲気にも馴染み混み、集中して歩行をしていました。素晴らしかったです。縦割りの良さも改めて感じました。小さい子たちが大きい子の色々な場面の空気を感じ取り自分のものにする過程がみられました。家庭でもこの空気感や環境を取り入れて日々子ども達の成長を見守りたいと思います。

高瀬 すみれ

水曜日の参観でしたので、体育を見学することが出来たのがとても貴重でした。時間が来たらその都度片付けたり、移動したりと、子供達なりの習慣が出来上がっていて感心しました。また、ずっと話には聞いていた『みかん搾り』のお仕事を嬉しそうに見せてくれました。自分が園でどんな仕事をしていて、それがどんなに楽しいのかということを母と共有したかったのだと思うと、あらためて参観の機会の大切さを感じました。

久保 治房

普段マジックミラー越しから幾度か見学させていただいておりましたが、今回初めて同じ空間に身を置いて見学させていただき、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。

治房のお仕事の都合上、前半は手前(2)の部屋で後半は奥(4)の部屋に座らせていただいておりますが、お部屋によって全く異なる空気感が漂っており、とても興味深かったです。

奥のお部屋はいい意味で混沌とした膨大な子供たちのエネルギーの中、ふいに時折お部屋の子達の中で一人二人、針の中に糸を通すような集中の瞬間が現れ、それがとてもキラキラとしていました。また、手前のお部屋では奥の部屋のような混沌とした空気は鳴りを潜め、秩序だった空気とともに

子供たちの深く長い集中したエネルギーを感じ、園児の一人お一人がとても素敵でした。
また来年、ぜひ見学させていただければと思います。
治房の成長とともに、みなさまのご成長も楽しみにしております。

岩見 光莉

我が子は私の膝に座っている時間もありましたが、みなさん個々にご自分で選んだお仕事に集中されていて、進めるのに助けが必要なときは先生とお話はしていますが、小さな子が沢山いるお部屋には思えない静かさでした。昨年のちょうど今頃に、入園前の見学をさせていただいた時でしたが、まるで職場みたいです。頼もしさを感じる一方、体育やお歌の練習、お昼ごはんの時間は、先生の順番指示などを守りつつ、小さな子がもっと小さな子を気かけながら、みんなで楽しむ姿がとても愛らしかったです。元気すぎる娘ですが、この素敵な環境で少しは落ち着きを持って過ごしていたことに安心いたしました。先生方の静かにこどもたちを見守る姿は、私もお家でもっとこどものペースを尊重してあげないといけないなといつも反省させられます。こどもを観察することの大切さを改めて感じた貴重な時間となりました。ありがとうございます。

高橋 咲

私は1学期の一番最初の日が保育参観でした。

青組さん、黄組さんのお子様たちは保育参観を何度か経験していらっしゃるようですが、赤組さんは初めての方が多かったのか、私の周りに子供たちが集まってきました。

しかし、青組さんが赤組さんに

「咲ちゃんのお母さんに話しかけても、話してもらえないよ」

と教えてあげている様子を見るところから、参観が始まりました。

私は2のお部屋に居て、娘は4のお部屋に居たこともあり、

娘の様子があまり見れなかったのですが、目の前にいた青組さん、黄組さんの集中している姿をじっくり見ることができました。

言語のお仕事や、数のお仕事、とても集中して楽しそうにお仕事しているのが印象的でした。今の娘の様子を見て、2年後にこんなに難易度が高いお仕事に集中することができるようになるものなのか。

とびっくりしました。

また、年長のお子様方が、年下のお子様方の面倒を見てあげている様子も印象的でした。

最近、娘が「どうしたら青組さんになれるの？」と私に質問するようになり、

参観時に見たようなことが積み重なって、青組さん、黄組さんに憧れを抱いているのかな。

と思っています。

須藤 凜香

4番のお部屋で一日過ごしたので主に桃組さんと赤組さんの日常のお仕事の様子を拝見していただきました。ゆったりとした中で自らお仕事を選んで集中していらっしゃるお姿や周りを観察し吸収したり、お互い助け合ったりなど沢山のご様子を見る事ができました。他にはお子さん同士の微笑ましい光景を目の当たりにする事もありました。

我が子に関しては裁縫道具を持ち出した様子を見ていたら床に糸を一つ落としてしまいました。が、5分後でしょうか自ら気づいて取りに来ていました。大人にとったら5分は長いかもしれませんがその間他のお子さん達は夢中なので誰もそれを指摘しません。自分で何かをきっかけに気づく能力が備わっているのだなと普段ペアレンツコースで教えてくださっている事を思い出しておりました。

その空間の中で皆さん個々のペースで大人がどなたも介入せずゆったりとお仕事されるお姿を拝見する良い機会でした。先生方ありがとうございました。

木村 謙斗

4番のお部屋で見学をさせていただきましたが、子どもたちは自分でお仕事を選び、空いている席に座り、黙々とお仕事に没頭し、お仕事が終わると元の場所に教具を戻している姿を見ることができ、とても感動しました。また、子どもの自主性を尊重しながら関わられている先生方のお姿にも、とても感銘を受けました。私もそのように子どもに接したいと思いながらも、つい口出ししたり過干渉になってしまっているため、親としての接し方も改めて学ぶことができました。謙斗は、終始落ち着きがなくお仕事に集中できていませんでしたが、少しずつでも集中する時間が増えると良いなと思います。

今泉 帆乃華

私は6月に保育参観に参加させていただきました。I Cクラスでは、『おかあさん先生』として子どもたちと一緒に過ごします。先生方がどのように子どもたちに接して下さっているかを見て、そして体験することができました。

今年の春、入園したての頃、マジックミラーの参観で見学した時はまだまだ落ち着きがありませんでしたが、娘もお友達もこのたった3～4ヶ月でずいぶんと落ち着いて、真剣にそして楽しそうにお仕事ができるようになっていて、著しい成長を感じました。

保育参観の最後に、娘の好きな『ぼくはあるいた まっすぐ まっすぐ』という本をご紹介します。子どもたち皆、キラキラした目で真剣に聞いてくれてとても嬉しかったです。素晴らしい経験をありがとうございました。プライマリークラスに上がってからの参観も、とても楽しみです。

渡部 颯真

颯真が入園して4ヶ月程経った7月に保育参観に参加させていただきました。先生から颯真の様子は日々お聞きしていたので成長はひしひしと実感しておりましたが、やはり実際に園で過ごしている姿を見ると、こんなことができるなんて！ととても感動しました。保育参観の日は颯真がおやつを配るお当番さんで、私は正直颯真がみんなのおやつを配ったり水筒を用意したりする姿があまり想像できませんでした。しかし、お友達におやつを配り、いただきますをするまでしっかりと待っている姿を見て、園での経験がしっかりと身についているんだと改めて思いました。颯真は園が本当に大好きで、最近はおうちでも自分が取り組んだ活動をお話ししてくれます。これからもどうぞよろしくお願いします。

鳥居 一遙

「保育参観」とは言え、観るだけではなく、実際に授業へ参加する機会を頂き、心から感謝しております。我が子一遙がどのように家と異なる環境の中で自分と周りを観察しつつ反応し行動して行くのを親が自分の目で確かめられたので、多少とは言え、子どもへのさらなる理解ができたと思います。

また、他のこどもたちとの一対一のインターアクティブなふれ合いもできて、かつみんなの前で絵本を朗読する体験もさせて頂き、短い時間でしたがI Cクラスの全体像への把握に繋がったと思います。

もとより、先生たちの親切かつ実意を尽くした状況への説明と対応があつてからこそ今回のような素晴らしい体験ができたと思います。おかげさまで、自分も梶山モンテッソーリスクールの一員であると実感することができて、とても感謝しています。

<おわりに>

コロナが収束することはなく、くる年もコロナとともに生活せざるをえないのでしょうか？また、人々の命を巻き込む戦いは、一刻も早い終わりを告げてほしいのに、政府間の話し合いもままならず、世界的に流通が滞り、物価高におよんで、新しい年の幕開けも明るい希望がみえません。子どもたちには、隔たりのない、異文化や人種、個性の違いに寛大であるように、保育者を通して、受け入れる姿を感じてほしいと日々つとめております。そして、次の世代を担う子どもたちへ、モンテッソーリ教育を通し、平和な国に生まれて良かったと思うだけでなく、自分の力を身近な人へ、世界の人へと使うことのできる大人に育ててほしいと願います。微力ではありますが、やはり子供たちを信じて、新しい年も頑張っていけたらと思います。良い年をお迎えください。